平成19年5月

保護者　様

浦安市立日の出幼稚園
園長　　石井　ひろ子

お　知　ら　せ

幼稚園の飲み水について

幼稚園の飲み水って本当に安心なの？　水分補給はできているのとご心配されている保護者の方もいらっしゃるのではと思います。また、特にこれからの時期、冷たい飲み物を好み、水筒を持たせたいという声も聞かれます。

そこで、本園における飲み水（水道水）についての考え方をお知らせいたします。

今日、各家庭で浄水器、ペットボトルの利用が一般化されている中、幼稚園の塩素消毒された水飲み場の水は塩素臭や味がまずく生ぬるい、体に害があるのではないかと心配される保護者の方もいらっしゃるようです。水道水に消毒の目的で投入されている程度です。消毒に用いられている塩素は、唾液によって消費されるので経口毒性はないと考えられています。

飲料水として適しているかどうか、幼稚園では、毎日残留塩素を測定しています。また、学校薬剤師により年に一度、大腸菌・一般細菌・有機物等が混入していないか等の科学検査を実施しています。（今年度は5月9日に実施します）

このようなことから、下記のことを考慮して、幼稚園では流れ出る水道の方が感染予防の観点から安全と判断しています。

○　保育室内がこれからの季節、室温や湿度が高くなり、水筒を保管する状態があまりよくありません。（お弁当は、冷房の部屋で管理するようになります）

○　水筒の物を飲むときには常に清潔な手で扱うようにさせたいのですが、子ども達の様子をよく見て、その都度注意を促したり、指導をしたりすることが十分にできない状況にあります。

○　水筒が気になり、活動の妨げやトラブルが生じる原因になることも考えられます。

○　災害時やいろいろな場面に対応できるたくましさを育てていきたいと考えています

◎　幼稚園では、水分補給が随時で十分できるように声をかけ促して留意しています。

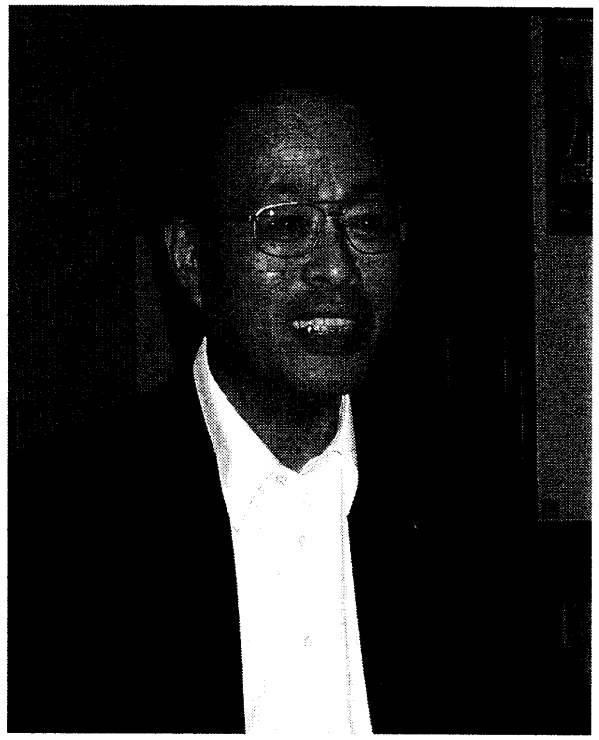
上記の内容をご理解してしただいた上で、なおかつ水筒をご持参されたい方は、衛生面を十分配慮したお茶や白湯をお願いします。

ただし、魔法瓶は壊れやすく、危険を伴いますのでご遠慮ください。

水道水を飲む

幼稚園にも出前講座を …加藤
蛇口を上にし水分補給 …石井
水と健康で正しい理解 …東岡

東京都の水の科学館を視察する石井、加藤両氏



加藤氏

↙さまにご理解いただけるよう組織も強化し、「おいしい水づくり推進室」というセクションを発足させています。ここでは、大別して3つの視点で様々な対策に取り組んでいます。1つは技術的な取り組みで、高度浄水処理の導入に向けた検討や広い給水区域での適確な残留塩素管理のあり方などを検討しています。特に、残留塩素の低減化については、当局の給水範囲が広範囲にわたることから、すぐに、というわけにはいきませんが、一歩一歩着実に進めていこうと考えております。2つ目はキャンペーン活動です。自治会や学校等への出前講座を実施することで、水道事業に対する理解を深めて貰えるよう努めています。もう1つは、お客さまとの協働です。これは、貯水槽水道の地域巡回サービスなど、より安全でおいしい水に向けて共に前進を図ることを目指しています。

東岡　今、加藤技監が言われたように高度浄水処理への期待も勿論ですが、残留塩素の綿密な管理も蛇口から直接水道水を飲む文化を守っていく上でとても大切な要素です。残留塩素の水道水質基準は0・1ミリグラム／ℓ以上1・0ミリグラム／ℓ以下とされていますが、濃度が高いとカルキ臭が出ますので、当局ではできるだけ低く0・4ミリグラム／ℓ程度に保つように努力しています。残留塩素は浄水場から水道管を通って蛇口に届くまでの間に消費されて、どうしても濃度が下がってしまいます。浄水場から近いところも遠いところも、給水区域全体で均等に残留塩素濃度を良い状態に保つためには、浄水場だけでなく途中での塩素の追加注入によりきめ細かくコントロールしていくことが必要です。東京都でも水道水をよりおいしくするための「新たな水供給システム」として取組を始めたところです。

石井　私達の幼稚園でも毎日の残留塩素測定で0・4から0・7の範囲から外れると市に報告することになっていますし、味も確めています。

先程、加藤さんから浦安には複数の浄水場から水が来ていると教えていただきましたが、言われてみれば、日によって味は少し違う気もします。そして、最近はおいしくなってきていますね。

加藤　有難うございます。

東岡　昔は、学校のクラブ活動などでも、練習中は水を飲ませないような考えがあったりしましたが、最近は水を飲んでいる姿を子供達に示すことで水を飲むことの大切さを教えています。日頃から健康観察には目を配っているつもりですが、その中でも水は特に大きな要素です。

石井　私達の園では担任が遊びの前後や合間にはたびたび水を飲むように声を掛けています。先生自らが蛇口を上に向けて、私は、この方がコップを使うより衛生的であると思っていますけれども、蛇口を上に向けてゴクゴク水道水に関して気を配ってらっしゃることはありますか？

石井　やはり、水分補給ですね。特にこれからの季節は脱水症や熱中症が心配です。子供の身体は小さくても毛穴の数は大人と変わらないんですね。だから、小さい子は日々小まめに水を取らなくてはならないのです。

—このほか、幼稚園で

—水道関係者にとって、将来に向けて明るいヒントをいただけたのではないでしょうか？今日は活発な意見交換、有難うございました。

東岡　今、加藤技監が言われたように高度浄水処理への期待も勿論ですが、残留塩素の綿密な管理も蛇口から直接水道水を飲む文化を守っていく上でとても大切な要素です。

石井　私達の幼稚園でも毎日の残留塩素測定で0・4から0・7の範囲から外れると市に報告することになっていますし、味も確めています。

先程、加藤さんから浦安には複数の浄水場から水が来ていると教えていただきましたが、言われてみれば、日によって味は少し違う気もします。そして、最近はおいしくなってきていますね。

加藤　有難うございます。

東岡　昔は、学校のクラブ活動などでも、練習中は水を飲ませないような考えがあったりしましたが、最近は水を飲んでいる姿を子供達に示すことで水を飲むことの大切さを教えています。日頃から健康観察には目を配っているつもりですが、その中でも水は特に大きな要素です。

石井　私達の園では担任が遊びの前後や合間にはたびたび水を飲むように声を掛けています。先生自らが蛇口を上に向けて、私は、この方がコップを使うより衛生的であると思っていますけれども、蛇口を上に向けてゴクゴク水道水に関して気を配ってらっしゃることはありますか？

石井　やはり、水分補給ですね。特にこれからの季節は脱水症や熱中症が心配です。子供の身体は小さくても毛穴の数は大人と変わらないんですね。だから、小さい子は日々小まめに水を取らなくてはならないのです。

—このほか、幼稚園で水に関して気を配ってらっしゃることはありますか？

石井　やはり、水分補給ですね。特にこれからの季節は脱水症や熱中症が心配です。子供の身体は小さくても毛穴の数は大人と変わらないんですね。だから、小さい子は日々小まめに水を取らなくてはならないのです。私達の園では担任が遊びの前後や合間にはたびたび水を飲むように声を掛けています。先生自らが蛇口を上に向けて、私は、この方がコップを使うより衛生的であると思っていますけれども、蛇口を上に向けてゴクゴク水道